みんなのとしょかん

346

いるです。

特集 ●HULSが選ぶ! 2015年重大ニュース特集

●突撃! 図書館長インタビュー





HULSが選ぶ!

2015年重大ニュース特集

図書館学生ボランティアHULSメンバーが、 6つの分野から2015年のニュースをそれぞれピックアップしました。さらにニュースをよく知るための関連図書もご紹介します!

社 会 学 安全保障関連法、成立

安全保障関連法案(安保法)の成立によって、憲法第9条に反するのではないかと争点になっていた集団的自衛権が認められました。他に、自衛隊の活動範囲や使用できる武器の拡大、在外邦人の救出を可能にするなどの法の改正もなされます。

法と憲法、日本の安全保障を考える上で役立つ本をご紹介します。



『憲法はむずかしくない』

池上彰著、筑摩書房

そもそも憲法第9条と自衛権の問題は、第二次世界 大戦直後から起こっていた。憲法とは何か、どうやっ て日本国憲法ができたのかもわかりやすく解説した入 門書。巻末の参考文献欄も役立ちます。

西図書館小型 323.14/I-33



『安全保障とは何か』

遠藤誠治、遠藤乾編、岩波書店

安保法成立の背景には米国や中国との国際関係の変 化も関わっています。シリーズ「日本の安全保障」の第 一巻であり、歴史、国内情勢、国際情勢から安全保障 の課題点を検討、整理した図書です。

西図書館開架 319.8/Sh-88/1



『永遠平和のために』

カント著、宇都宮芳明訳、岩波書店

人類にとって、法とはどうあるべきか。難解な三大 批判書で知られるカントですが、この本はわかりやす く60ページ程とお手軽で、幅広い分野の方にオススメ です。

全館所蔵 134.2/Ka-59

(文学研究科1年 高橋)

文 学 芥川賞、芸人として初受賞!

第153回芥川龍之介賞は、又吉直樹さんの『火花』と羽田圭介さんの『スクラップ・アンド・ビルド』が受賞しました。

又吉さんはお笑いコンピ「ピース」のボケ担当としてテレビでも活躍中、読書好きで太宰治の大ファンであることも知られています。「火花」は9月に累積売上200万部を突破しました。受賞作と共に、太宰治の名著も是非読んでみてください。



火花

又吉直樹著、文藝春秋

常識破りで人間味のある先輩お笑い芸人・神谷と、彼をお笑いの師として仰ぐ主人公・徳永の物語。現役の「人気」お笑い芸人だからこそ書くことのできる、「笑い」と「生」の純文学です。

中央図書館 913.6/Ma-71



1

『スクラップ・アンド・ビルド』

羽田圭介著、文藝春秋

心にザワザワとしたものが残る一冊。介護、再就職、彼女…現代社会を生きようとする若者・健斗が死を望む祖父のためにしたこととは?超高齢社会の問題点についても考えさせられます。

中央図書館 913/H-11



『人間失格』(『人間失格;グッド・バイ:他一篇』より) 太宰治作、岩波書店

他人の感情や幸福が理解できない。一度でも、そう 感じたことがある方は是非手にとるべし!この物語は、 悲しい話でも絶望の話でもない。又吉さんも愛する、

人間の闇と人らしさの太宰ワールド。 西図書館小型 913.6/D-49

(文学研究科1年 高橋)

教育学 公職選挙法改正、18歳選挙権

満18歳以上の者が選挙に参加できるようになることに伴い、高校生の政治活動も一定の条件のもと一部容認されました。その一方で学校側に対しては、政治的中立性を求める教育基本法の規定に触れ、教師に「政治的中立」を要請しました。

今後の政治教育を考える上で役立ちそうな本を3冊ご紹介します。



模擬選挙・出前授業の 事例とマニュアルも充実 『18歳選挙権の手引き:改正法の詳細から主権者 教育の現状/事例まで』

18歳選挙権研究会監修、国政情報センター

公職選挙法改正によって、政治教育に関する課題が 各高校に突きつけられます。本書は改正法の詳細から、 主権者教育の現状と実例、そして教育を実践する際の マニュアルまでを網羅した「18歳選挙権」の手引書です。 中央図書館 375.31/J-92



『ドイツの政治教育:成熟した民主社会への課題』 近藤孝弘著、岩波書店

市民の非政治的態度がナチズムを生んだという反省から、現代ドイツは歴史認識や右翼急進主義など、現実社会のさまざまな問題を直視する教育を模索しています。日本の社会科教育、政治と教育の関わりにも重要な示唆を与えてくれる書。

中央図書館 372.34/Ko-73

『日本の教育文化史を学ぶ:時代・生活・学校』

山田恵吾編著、ミネルヴァ書房

日本人はどのような教育を受け、育ってきたか。時代、世代によって異なる教育観や教育実践から日本人の姿を描き出す一冊。政治教育について考える前に、この本で日本の教育史をおさえてみてはいかがでしょう?

西図書館開架 372.1/Y-19

(教育学部2年 森脇)

農 学 TPP 交渉大筋合意

2010年から始まった TPP(環太平洋パートナーシップ協定)の交渉ですが、5年以上かけて大筋合意に至りました。政府の試算では、TPPによって実質 GDPが約3.2兆円増加する一方で、農林水産物の生産額は約3兆円減少するとしており、農家などからは国内農業への影響に対する懸念の声も出ています。以下、TPPと農業に関連する本をご紹介します。



『農業問題: TPP後、農政はこう変わる』

本間正義著、筑摩書房

農業政策の第一人者である著者が TPP参加後を見据え、コメ、農地、農協に関わる問題を丁寧に解説。日本農業が生き残るための手がかりをくれる本です。

中央図書館小型 678.3/H-83



「農業がわかると、社会のしくみが見えてくる:高校生からの食と農の経済学入門」

生源寺眞一著、家の光協会

世界の食料問題から日本の農業の構造的な問題まで、 複雑な農業問題を幅広く、公正な視点でまとめた本で す。副題のとおり、全体的にわかりやすく書かれてい ます。

西図書館開架 611/Sh-95



『リンゴが教えてくれたこと』

木村秋則著、日本経済新聞出版社

著者は、絶対不可能と言われたリンゴの無農薬・無肥料栽培を成功させ有名になった木村秋則さん。「奇跡のリンゴ」というタイトルで2013年に映画化もされました。

東図書館開架 625.21/Ki-39

(教育学部2年 森脇)

医 学

ノーベル生理学・医学賞受賞

飛び込め、科学の世界 二日連続で日本人が受賞!

10月5日、2015年のノーベル生理学・医学賞を、北里大学特別名誉教授の大村智博士が受賞しました。大村博士の受賞理由は、"線虫の寄生によって引き起こされる感染症に対する新たな治療法に関する発見"です。大村博士が発見したイベルメクチンは、線虫が引き起こすオンコセルカ症の特効薬となり、毎年2億人に投与されています。ほかにも大村博士が見つけた多くの化合物が感染症の患者を救い続けています。

ここでは大村博士に関連する2冊の本をご紹介します。

『抗生物質研究の最先端』

大野雅二、大村智編、東京化学同人

抗生物質の普及により、人類は多くの病気を克服しました。しかし、あまりにそれに頼り過ぎたのか、菌の中には抗生物質に耐性を持つものも出てきました。『抗生物質研究の最先端』の93~99ページには、抗生物質に耐性を持つ菌と抗生物質を生産する菌の、抗生物質防御機構の比較と類似性が述べられています。

東図書館開架 491.79/O、西図書館開架 491.79/O-69、

霞図書館開架 491.79/O-69



『微生物薬品化学』

上野芳夫、大村智編、南江堂

「微生物薬品化学」は、その分野の教科書であり、中級者向けの1冊です。

西図書館書庫 499.3/B-47、霞図書館開架 499.3/U-45

(理学部1年 森島)

理 学 ノーベル物理学賞受賞

10月6日、ノーベル物理学賞を、東京大学宇宙線研究所の梶田隆章教授が受賞しました。

地球上にある千差万別の性質をもつ物質を、ある微小な粒の組み合わせによって説明したいという衝動が、周期表に載る元素や、陽子、中性子、電子の発見を導きました。しかし、今や陽子と中性子はもっと細かい素粒子に分解できるとされています。日常目にする化学反応は原子と電子で大概は説明できるのに、なぜそうしなければならなかったのか。それは、それまでの理論では説明できない事象が現れたからだといえます。ノーベル賞受賞に関連するニュートリノも、 β 崩壊という現象で放出される電子のもつ不可解なエネルギー分布を説明しようと初めは辻褄合わせのために導入されたものでした。

このニュースに関連してオススメするのは、以下の3冊です。



『宇宙創成はじめの三分間』

S・ワインバーグ著、小尾信彌訳、ダイヤモンド社 私たちの想像できないような高温状態で、私たちの 聞きなれぬ名の素粒子が、私たちを差し置いて主役に 躍り出るさまは、実に痛快です。

中央図書館 440.12/W-55、

西図書館開架 443.9/W-55

『ニュートリノ:小柴昌俊先生ノーベル賞受賞記念』

田賀井篤平編、東京大学総合研究博物館

中央図書館 440.12/Ta-17、西図書館開架 440.12/Ta-17

『新・天文学事典』

谷口義明監修、講談社

東図書館小型 440/Sh-57、西図書館小型 440/Sh-57 (理学部1年 森島)

突擊

図書館長インタビュー

平成27年4月に寺本康俊先生が新しく図書館長に 就任されました。普段利用しているなかではあまり 意識することのない「図書館長」。どんな仕事をされ ているのか突撃インタビューを敢行しました!

てらもと やすとし 寺本 康俊先生 広島大学大学院 社会科学研究科 教授

専門は日本外交史、現代外交論など



>>図書館長に就任されて、この半年間はいかがですか?

外から見ている図書館と、図書館長として中から見るのでは大きな違い がありました。これまでは図書館と言えば静かなイメージでしたが、実際 はカウンターの受付だけでなく、地下の事務室にたくさんの職員がいて、 いろんな仕事に携わっていると知ったのが最初の大きな驚きでした。

図書館長の仕事は、図書館の様々な仕事の方針を決めることですが、特に今は電子ジャーナルの価格高騰という大きな問題に直面しています。電子ジャーナルは理系を中心に研究になくてはならないものですが、非常に高額で、さらに年々値上がりしています。電子ジャーナルが買えなくなると、教育・研究に大きな支障が出てきますので、どのように維持・管理していくかに頭を悩ませています。

≫先生は大学院時代に広大におられたとのことですが、今の学生はいかがでしょうか?

今の広大生は、優秀で真面目でいい学生だと言われています。プラスアルファを望むなら、もう少し自己主張をしてもいいのではないかと思います。就活などでも、首都圏・関西圏の学生さんは自己主張をしっかりしていたけど自分はあまりPRできなかったという広大生の話をよく聞きます。

自分の思ったことを発言する力は一朝一夕で身につくものではなく、普段から練習することが必要です。普段の授業やゼミはもちろんですが、図書館が行っているビブリオバトルなども使いながら自分の考えを発言する練習をしていってほしいと思います。

>> 先生から学生におすすめしたい本を教えてください。

一つはベアテ・シロタ・ゴードンの「1945年のクリスマス」です。

戦後間もない日本で、今の日本国憲法の草案を作った GHQメンバーの一人です。彼女は、まだ戦時中の男尊女卑が主流だった日本で、憲法第24条の原案を作りました。その中には個人の尊厳や男女の本質的平等を唱えており、戦後の女性に人権を与える大きな力になりました。私はこの本の中で彼女が言っている「私は日本女性に最高の幸せを贈りたかった。」という言葉に大きな感銘を受けました。

もう一つはキッシンジャーの『外交(上·下)』です。アメリカの 外交は傍から見ていると意図がよく分からないところがあります が、これまで何を考えてどんな外交をしてきたのかを解説してくれ ています。



■「1945年のクリスマス」 ベアテ・シロタ・ゴードン著、柏書房 中央図書館書庫 289,3/G-67

> 『外交』(上・下) ▶ ヘンリー・A・キッシンジャー著、 日本経済新聞社

> > 中央図書館 319.53/Ki-59



また、資源のない日本が世界と付き合う上で、これまで世界に対して何をしてきたのか知ることも重要です。信夫清三郎の『日本の外交』(中央図書館書庫319.1/Sh-65、西図書館319.53/Ki-59) や、細谷千博の『日本外交の軌跡』(中央図書館、東千田図書館319.1/H-95)の2冊は日本がこれまでどう過ごしてきたかという大きな流れを鳥瞰している本です。

このように、いろんな本を読むことで幅広い見識を持ってほしいと思います。人生の中で経験できることは限られています。多くの本を読むことで、様々な人々の気持ち、考え方や人生を知り、また変化の激しい世界の動きを理解してください。

全国大学ピプリオパトル News & Event



10月23日(金)18時30分より、中央図書館BIBLAグループスペースにて、図書館学生ボラ ンティアHULS主催で全国大学ビブリオバトル2015~首都決戦~広島・山口・岡山地区予選in 広大を開催しました。

発表者(バトラー)6名の紹介した本の中から、観戦者26名の投票により今回のチャンプ本に選 ばれたのは、工学部3年大西洋さんの紹介した高野和明著『ジェノサイド』(2011年 角川書店) でした! 本にも発表の仕方にも、それぞれ個性があり、まさに「人を通して本を知る、本を通して 人を知る」というビブリオバトルのキャッチコピーどおりのイベントになりました。

大西さんは11月3日(火)に広島県立図書館で開催された中国B.Cブロック地区決戦に出場しま した。残念ながら首都決戦への出場は逃しましたが、堂々とした発表で健闘されていました。今後も 引き続きビブリオバトルを開催する予定ですので、興味を持たれた方はぜひお気軽にご参加下さい!!

その他の紹介本:吉田尚紀『なぜ、この人と話をすると楽になるのか』(2010年 太田出版)、重松清『青い鳥』(2010年 新潮社)、

上橋菜穂子『精霊の守り人』(1996年 偕成社)、池井戸潤『下町ロケット』(2010年 小学館)、村上春樹「ノルウェイの森」(1987年 講談社)



図書館公式 Facebookt 開設しました

図書館の各種サービスやイ ベント等をお知らせしますの で、ぜひご覧ください!

https://www.facebook.com/ HiroshimaULib





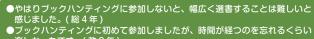
▲西図書館2階の展示コーナ

第5回広大生が選んだ本」開催中!

2016年2月5日(金)まで、西図書館2階で "広大生が選んだ本" を展示しています。

今年度、広島大学図書館の学生選書グループ (学部生 10 名・院生 4 名) が選んだおすすめ本の展示です。おすすめポイントを書いたポップの作成や、 本の大きさや色などバランスを見ながら展示もしてもらいました。展示して ある 23 冊は、直接書店で本を選ぶ "ブックハンティング" と Web で選

定を行った中の、ホンの一部! OPAC の詳細検索でタグを選び、「学生選書 2015」と検索してみて下さい。一覧で見ることができます。貸出状況の確認や 予約も Web からできますので、ぜひあわせてチェックしてみてくださいね♪



楽しかったです。(教2年) ●自分の考えで図書館に本を入れられて楽しかったです。(理1年)



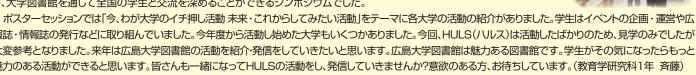
▲ポップにラミネートをかける様子

学生ボラシティア HULS活動報告

今年度より活動を開始した図書館学生ボランティアHULS (ハルス)。今号の特集記事を担当したほか、ビブリオバ トルの開催や小展示企画など、精力的に活動中です!その中から9月に参加した学生協働交流シンポジウムについて ご紹介します。

9月8日(火)に梅光学院大学(山口県下関市)で開催された第5回大学図書館学生協 働交流シンポジウムに参加しました。最近、全国各地の大学では大学図書館を舞台として、学生が職員とともに図書館の活動に関 わって新しい取り組みをしており、それぞれどんな活動をしているのか、このシンポジウムで情報交換や交流を行っています。今 回のテーマは「図書館維新~図書館が繋ぐ人と人~」で全国から38の大学・短大などの職員、学生あわせて189名の参加があ り、大学図書館を通して全国の学生と交流を深めることができるシンポジウムでした。

報誌・情報誌の発行などに取り組んでいました。今年度から活動し始めた大学もいくつかありました。今回、HULS(ハリレス)は活動したばかりのため、見学のみでしたが 大変参考となりました。来年は広島大学図書館の活動を紹介・発信をしていきたいと思います。広島大学図書館は魅力ある図書館です。学生がその気になったらもっと 魅力のある活動ができると思います。皆さんも一緒になってHULSの活動をし、発信していきませんか?意欲のある方、お待ちしています。(教育学研究科1年 斉藤)



皆さんにとって、図書館とはどんな場所ですか?私が学生のころは、自習と資料のコピーをするためによく訪れてい ました。グループ学習、資料を借りる、パソコンの利用など…図書館の使い方はどんど

ん多様化していますが、図書館には図書・雑誌などの資料があるところ、という印象が 強いのではないでしょうか?

私は現在、図書館資料の選定業務に携わっています。限られた予算の中で、皆さんに必要な図書を選定 するのはとても難しい仕事です。ここ数年、学生ならではの視点から図書館資料を選んでもらいたいと、 学生選書メンバーを募集しています。ブックハンティングに行ったり、WEB で選定本を登録したりと、 メンバーは選定作業を楽しんでくれているようです。選定した本の中から、広島大学図書館の基準に照ら して購入する本を決めるのですが、先生や職員が選んだ本とは一味違った、皆さんの興味を引くラインナッ

プになっていると思います。皆さんも学生選書に参加し、一緒に図書館の資料を選びませんか?

編集後記

今号の重大ニュース特集はHULSのみなさんが作成してくれました。みなさんありがとうございました! こうして振り返ると2015年もたくさんの出来事がありました。来年も「みんと」をよろしくお願いします♪ みんと12号 平成27年12月15日発行 広島大学図書館 〒739-8512 東広島市鏡山1-2-2

(整備グループ 瀧脇)